

令和4年度 第3回
県南西部地域医療構想調整会議 議事概要

日時：令和5年3月9日（木）14:30～16:00

場所：岡山県備中県民局会議棟第1・2・3会議室

【挨拶 備中保健所長】

- ・本日は皆様方大変ご多用の中、県南西部地域医療構想調整会議に御出席くださいまして誠にありがとうございます。また平素から県の保健医療福祉行政について多大に御理解と御協力をいただき、この場を借りまして厚くお礼を申し上げます。
- ・この地域医療構想調整会議でございますが、本日は議題としては、はじめに「水島中央病院の病床機能の転換の修正」について、こちらについて水島中央病院に説明していただき、皆さま方にご意見をいただくということになっております。
- ・そして、2番目に「地域医療構想を踏まえた対応方針について」これが、今日の会議の中心でございますが、国の方からその公的医療機関だけでなく民間病院も含めて、今後どのように説明していくのか、それを考えていくのか、どういう考えが背景にあるのかというようなことをお互いに出しあって、そして、それをメインにして、関係者間で議論し、今後の方向性を考えていきたいと思っております。これがおそらく今日の会議のメインになろうかと思っております。そしてその後、国県の動向ということで、県の医療推進課から担当が参っておりますので、その情報を提供させていただきます。短時間で盛りだくさんとなっておりますが、どうぞよろしくお願いたします。

【議長・副議長の紹介】

議長：難波 一弘 委員（倉敷医師会 会長）

副議長：難波 義夫 委員（岡山県病院協会井笠支部 支部長）

議事

【1 病院の病床機能転換の修正について（水島中央病院）】

〔水島中央病院から、資料に基づき説明あり〕

〔質疑・意見等〕

委員	・それでは早速議題に移りたいと思っております。まず議題1で、「水島中央病院の病床機能転換の修正について」ということですが、この件について令和4年3月17日に開催された、令和3年度の第2回の会議で同じ法人である倉敷リハビリテーション病院との病床再編ということで、一度、合意した記憶があるのですが、それを再度修正されるということですのでよろしいのですかね。では、なぜ修正することになるかの意味も含めて、水島中央病院の方から説明をお願いいたします。
----	---

水島中央病院	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、いつもありがとうございます。ちょうど1年前に病床機能転換の審議していただいたのですが、今回その修整ということで、皆様のお手持ちの資料1を参考していただけたらと思います。 ・前半3分の2は去年の話であります。今回はその下の方にあります病床機能転換の修正ということで、許可病床198床に関しては、ほぼ変更はありません。その中の病床区分についての変更がありますので説明をいたします。 ・今、急性期病棟として水島中央病院4階、5階が急性期病棟、51床、52床とありまして、その中の4階から1床、5階から2床、計3床を6階の地域包括ケア病棟に移すというものであります。この理由についてですが、地域包括ケア病棟が43床としておりましたが、その機能を充実させるために、急性期をダウンサイズして、地域包括ケアに回せるかという検討した時に、地域包括ケアの46床の機能が、今の水島中央病院、地域の皆様の救急とかの受け入れからすると、46床以上増やすのは、急性期を減らして増やしていくのはちょっと難しいということで、3床ではありますけども、急性期の病床を減らして何とか3床増床にしていくという形にしました。これが急性期から回復期への変更です。 ・もう1つは6階に、前回昨年度の会議では回復リハビリ病棟を作り、新しい病棟を作った所に地域包括ケアを移すということだったのですが、地域包括ケアを救急と連携して扱うことになりますので、救急からの搬入がしやすいところで、地域包括ケア病棟を6階に作り、新棟は回復リハ病棟と、新棟の中にもリハビリのセンターができますので、そういう意味では回復リハビリ病棟、それからリハビリがしやすいという環境が作れますので、病棟の位置を変えるということとしました。急性期の病床を減らして地域包括ケアを増やす。それから病棟の6階に回復リハではなくて、地域包括ケアを移して、リハビリがしやすい環境を作って回復リハ病棟を新棟にすると。その2点について修正をお願いしますのものであります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・他に特に説明はないですね。それでは、今お話いただいた内容で何か御質問御意見ありましたら、お願いいたします。 ・水島中央病院さんは水島の主幹病院ですから、急性期が本当はもっと欲しいとかそういうことはなかったんですか。ほぼこれで十分、対応が急性期もいけるということで、いいでしょうか。
水島中央病院	<ul style="list-style-type: none"> ・現実、今は病棟が足りなくて、救急も断るようなこともあるのですが、地域包括ケアができれば、そちらで在宅からの救急を受け入れた

<p>委員</p>	<p>り、夜間の救急だけではなく、在宅あるいは診療所といったところも紹介も受け入れるというカタチで、急性期だけではなく、地域包括ケアも利用して、救急も含めた水島の医療に携わっていかうかと思っております。</p> <p>・はい、ありがとうございます。そうですね、水島中央病院さんには、児島や玉島から多く来ているようですから、その重みがありますので、十分検討していただいたの結論だと思います。</p> <p>・ということでこれに特に他に何か付け加えて、御質問等はございませんでしょうか。</p> <p> ごさいませんでしたら、今回のですね「水島中央病院病床機能転換の修整について」は合意、了承ということでよろしいでしょうか。</p> <p> （～異議なし～）</p> <p>・ありがとうございます。それでは、了承していただいたものといたします。ありがとうございます、それでは水島中央病院の方どうもありがとうございました、それではどうぞ御退席ください。</p> <p>・それでは、議題2に移ります。ここからは非公開となりますので、傍聴席及び報道関係者の方は恐れいりますが、御退席お願いいたします。</p>
-----------	---

【2 地域医療構想を踏まえた対応方針について】

～非公開～

- ・ 4 4 医療機関の対応方針について検証を行った。

【3 国・県の動向について】

〔岡山県保健福祉部医療推進課から、資料による説明あり〕

- ・ 質疑応答なし。